

四 半 期 報 告 書

(第89期第3四半期)

自 2019年4月1日
至 2019年6月30日

株式会社ニックス

目 次

頁

表紙

| | |
|---|----|
| 第一部 企業情報 | 1 |
| 第1 企業の概況 | 1 |
| 1. 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2. 事業の内容 | 1 |
| 第2 事業の状況 | 2 |
| 1. 事業等のリスク | 2 |
| 2. 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |
| 3. 経営上の重要な契約等 | 2 |
| 第3 提出会社の状況 | 3 |
| 1. 株式等の状況 | 3 |
| 2. 役員の状況 | 4 |
| 第4 経理の状況 | 5 |
| 1. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| 2. その他 | 11 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 12 |

[四半期レビュー報告書]

[確認書]

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年8月9日 |
| 【四半期会計期間】 | 第89期第3四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社 ニックス |
| 【英訳名】 | NIX, INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 青木 一英 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号 |
| 【電話番号】 | 045-221-2001（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼グローバル管理本部長 先本 孝志 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号 |
| 【電話番号】 | 045-221-2001（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼グローバル管理本部長 先本 孝志 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第88期 第3四半期 連結累計期間 | 第89期 第3四半期 連結累計期間 | 第88期 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日 | 自 2018年10月1日 至 2019年6月30日 | 自 2017年10月1日 至 2018年9月30日 |
| 売上高 (千円) | 3,255,543 | 3,257,507 | 4,517,743 |
| 経常利益 (千円) | 176,609 | 157,369 | 380,775 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 128,378 | 121,568 | 301,441 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 120,632 | 97,804 | 298,015 |
| 純資産額 (千円) | 3,253,742 | 3,477,829 | 3,431,126 |
| 総資産額 (千円) | 5,198,219 | 5,356,088 | 5,393,954 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 55.27 | 52.34 | 129.78 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | — | — | — |
| 自己資本比率 (%) | 62.6 | 64.9 | 63.6 |

| 回次 | 第88期 第3四半期 連結会計期間 | 第89期 第3四半期 連結会計期間 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日 | 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 20.06 | 3.81 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費が緩やかに回復している一方で、企業業績は輸出が低迷し、慎重さがみられます。海外経済状況においては、中国市場の減速や通商問題が世界経済へ与える影響等、不確定要素が多く、依然として慎重な判断を必要とする状況が続いております。

このような中、当社グループの販売先である半導体製造装置業界やOA機器業界向けの製品需要が落ち込んだものの、生産設備業界は堅調だったこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,257,507千円（前年同期比1,964千円増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は166,083千円（前年同期比1,603千円増）、経常利益は157,369千円（前年同期比19,239千円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121,568千円（前年同期比6,809千円減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ37,866千円減少の5,356,088千円となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が81,929千円減少、現金及び預金が49,080千円増加したこと等により3,161,673千円となりました。固定資産は投資その他の資産が13,479千円減少し、無形固定資産が4,393千円増加したこと等により2,194,415千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ84,569千円減少の1,878,258千円となりました。流動負債は支払手形及び買掛金が323,343千円減少し、電子記録債務が261,651千円増加したこと等により1,079,778千円となりました。固定負債は繰延税金負債が6,061千円減少したこと等により798,479千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ46,703千円増加の3,477,829千円となりました。株主資本合計は利益剰余金が70,467千円増加したことにより3,439,748千円となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は167,174千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数（株） |
|------|-------------|
| 普通株式 | 6,400,000 |
| 計 | 6,400,000 |

②【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数（株） (2019年6月30日) | 提出日現在発行数（株） (2019年8月9日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------|------------------------------------|------------|
| 普通株式 | 2,323,000 | 2,323,000 | 東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 2,323,000 | 2,323,000 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年4月1日～ 2019年6月30日 | — | 2,323 | — | 468,134 | — | 388,134 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

2019年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式（自己株式等） | — | — | — |
| 議決権制限株式（その他） | — | — | — |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 200 | — | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 2,322,200 | 23,222 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 600 | — | 同上 |
| 発行済株式総数 | 2,323,000 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 23,222 | — |

（注）「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株（議決権1個）含まれております。

②【自己株式等】

2019年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%） |
|----------------------|--|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| （自己保有株式） 株式会社ニックス | 神奈川県横浜市西区 みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 8F | 200 | — | 200 | 0.00 |
| 計 | — | 200 | — | 200 | 0.00 |

（注）株主名簿上は、当社名義株式が243株あり、当該株式は「①発行済株式」の「完全議決権株式（自己株式等）」欄の普通株式に200株、「単元未満株式」欄に43株含めております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、興亜監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,436,667 | 1,485,747 |
| 受取手形及び売掛金 | 821,186 | 739,256 |
| 電子記録債権 | 251,645 | 257,747 |
| 有価証券 | 113,409 | 107,751 |
| 商品及び製品 | 285,062 | 299,349 |
| 仕掛品 | 36,059 | 41,238 |
| 原材料及び貯蔵品 | 42,983 | 39,801 |
| 前払費用 | 16,323 | 19,255 |
| その他 | 187,672 | 171,524 |
| 流動資産合計 | 3,191,010 | 3,161,673 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,734,738 | 1,744,752 |
| 減価償却累計額 | △1,145,787 | △1,181,647 |
| 建物及び構築物（純額） | 588,951 | 563,104 |
| その他 | 2,566,704 | 2,559,440 |
| 減価償却累計額 | △2,413,678 | △2,396,948 |
| その他（純額） | 153,026 | 162,491 |
| 土地 | 1,234,103 | 1,234,103 |
| 建設仮勘定 | 9,033 | 25,972 |
| 有形固定資産合計 | 1,985,114 | 1,985,671 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 9,414 | 13,808 |
| 投資有価証券 | 20,814 | 15,845 |
| その他 | 187,601 | 179,089 |
| 投資その他の資産合計 | 208,415 | 194,935 |
| 固定資産合計 | 2,202,944 | 2,194,415 |
| 資産合計 | 5,393,954 | 5,356,088 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 682,674 | 359,330 |
| 電子記録債務 | 34,566 | 296,217 |
| 短期借入金 | 21,585 | 20,512 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 251,676 | 246,145 |
| 未払金 | 53,564 | 42,596 |
| 未払法人税等 | 36,491 | 7,052 |
| その他 | 77,909 | 107,924 |
| 流動負債合計 | 1,158,467 | 1,079,778 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 163,082 | 157,624 |
| 繰延税金負債 | 262,533 | 256,471 |
| 退職給付に係る負債 | 217,508 | 224,239 |
| 役員退職慰労引当金 | 112,135 | 116,260 |
| その他 | 49,101 | 43,884 |
| 固定負債合計 | 804,360 | 798,479 |
| 負債合計 | 1,962,828 | 1,878,258 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 468,134 | 468,134 |
| 資本剰余金 | 388,134 | 388,134 |
| 利益剰余金 | 2,513,205 | 2,583,672 |
| 自己株式 | △194 | △194 |
| 株主資本合計 | 3,369,280 | 3,439,748 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,344 | 866 |
| 為替換算調整勘定 | 57,501 | 37,214 |
| その他の包括利益累計額合計 | 61,846 | 38,081 |
| 純資産合計 | 3,431,126 | 3,477,829 |
| 負債純資産合計 | 5,393,954 | 5,356,088 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 3,255,543 | 3,257,507 |
| 売上原価 | 1,773,650 | 1,769,733 |
| 売上総利益 | 1,481,893 | 1,487,774 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,317,413 | 1,321,691 |
| 営業利益 | 164,479 | 166,083 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 220 | 1,756 |
| 受取配当金 | 726 | 678 |
| 不動産賃貸料 | 9,924 | 8,938 |
| 為替差益 | 497 | — |
| その他 | 8,711 | 7,372 |
| 営業外収益合計 | 20,079 | 18,746 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,385 | 1,636 |
| 債権売却損 | 1,459 | 1,488 |
| 為替差損 | — | 16,180 |
| 不動産賃貸費用 | 4,214 | 7,124 |
| その他 | 890 | 1,029 |
| 営業外費用合計 | 7,949 | 27,459 |
| 経常利益 | 176,609 | 157,369 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 776 |
| 特別利益合計 | — | 776 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 176,609 | 158,146 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 51,471 | 40,835 |
| 法人税等調整額 | △3,240 | △4,257 |
| 法人税等合計 | 48,230 | 36,578 |
| 四半期純利益 | 128,378 | 121,568 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 128,378 | 121,568 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 128,378 | 121,568 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 203 | △3,477 |
| 為替換算調整勘定 | △6,898 | △17,978 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1,051 | △2,308 |
| その他の包括利益合計 | △7,746 | △23,764 |
| 四半期包括利益 | 120,632 | 97,804 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 120,632 | 97,804 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 95,714千円 | 99,881千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2017年12月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 55,746 | 24 | 2017年9月30日 | 2017年12月25日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額には、上場10周年記念配当2円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 51,100 | 22 | 2018年9月30日 | 2018年12月25日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは工業用プラスチック部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 | 55円27銭 | 52円34銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 128,378 | 121,568 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 128,378 | 121,568 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 2,322 | 2,322 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

株式会社ニックス
取締役会 御中

興亜監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 武田 茂 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松村 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニックスの2018年10月1日から2019年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニックス及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。